

情報サービス産業白書 2022
「ユーザー企業と情報サービス企業との新たな関係」講演会
開催報告

令和4年7月26日(火)、企画・広報委員会 白書統計部会において標記説明会がオンラインにて開催され、104名が参加した。

当日は、企画広報委員会 尾本 昇委員長の挨拶の後、令和3年度企画・広報委員会 白書・統計部会 木下 貴史部会長より、情報サービス産業白書2022年版の構成や内容、主に本書のテーマである「ユーザー企業と情報サービス企業との新たな関係」について、ユーザー企業及びJISA会員に昨年実施したアンケート調査の結果を用いて、来るべきデジタル産業時代において今後情報サービス産業の価値と目指すべきポジションがどうなるか「産業全体の視点でみた企業のDX」「情報サービス企業の対応」「DXの将来シナリオ」の観点から解説が行われた。

参加者からは、ユーザーの内製化の今後、内製化向きの領域、ユーザーの協業パートナーに対する評価点、デジタルネイティブな若い世代のDX推進の牽引について等の質問があった。

開催後のアンケートでは、97%が「大変参考になった」「参考になった」と回答し、「データから読み解いていくスタイルで理解が進んだ」「ユーザー企業のDX成熟度と取組状況について具体的な数字を把握することができた」「DXに関する内製化の動向がよくわかった」「5年後10年後のあり姿に関する調査もあり今後の中期計画を考える参考としたい」等といった声をいただいた。

なお、「ユーザー企業と情報サービス企業の新たな関係 情報サービス産業白書2022年版」は本年6月にインプレスより発刊され以下にて販売している。

<https://www.jisa.or.jp/tabid/272/pdid/wp2022/Default.aspx>

※本講演会の動画をJISA WEBメンバー限定で9月末まで公開の予定。

(澤井)